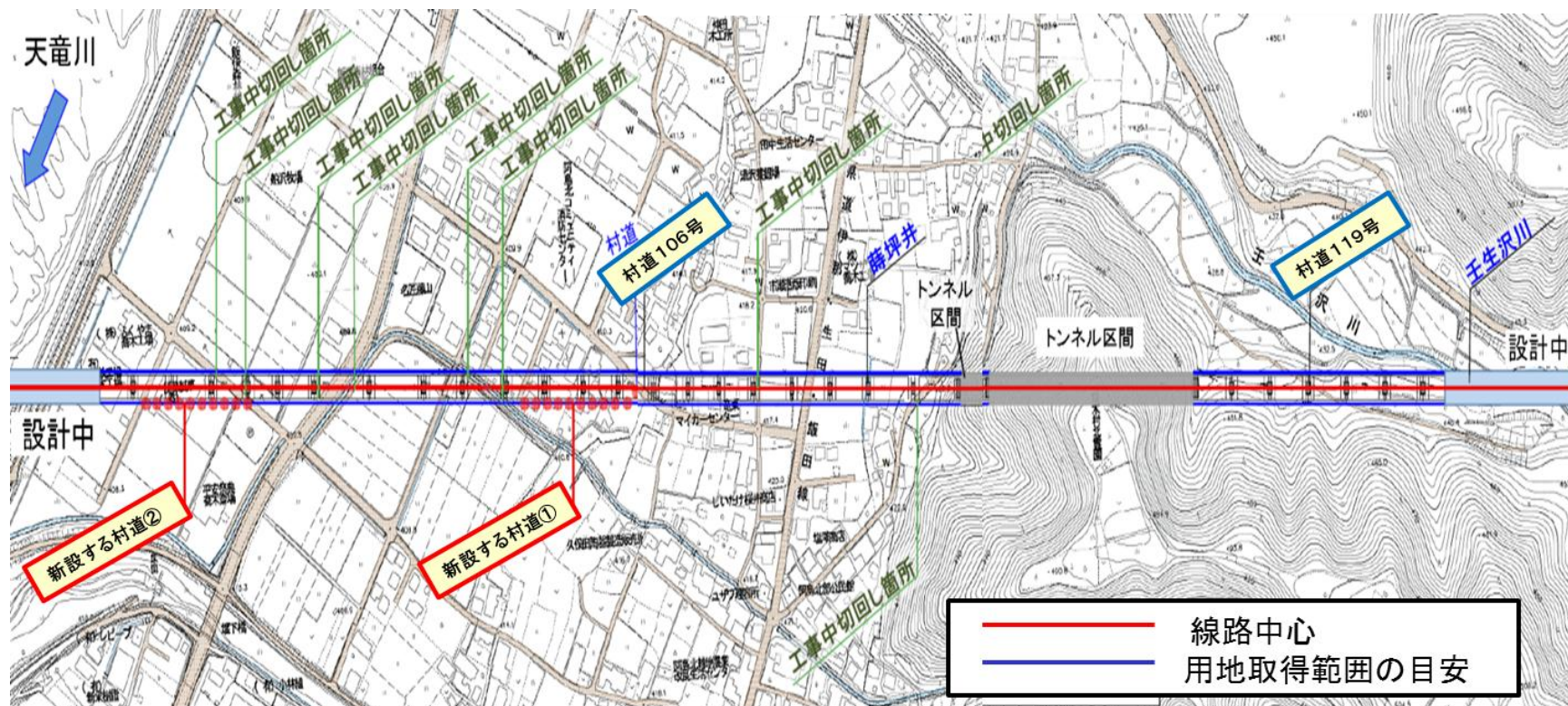


# リニア本線ルート計画



# リニア本線工事スケジュール

現時点では、概ね以下のとおりを予定しています。

橋木村 (阿島北地区)	H27年度		H28年度				H29年度				H30年度 以降
	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	
測量・地質調査等	■										
設計協議	■			■ 袋地、付替え箇所の幅杭確定							
用地取得等※		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
工事説明会									■	■	■
明かり区間 (ヤード造成等)										■	■

※用地取得等の〔 〕は手順を示しており、時期を表しているものではありません。

出典：JR東海の進捗状況説明資料を一部加工

# 大気環境測定車による調査

目的：リニア中央新幹線工事前と  
工事中の大気環境の比較の為

測定場所：阿島北コミュニティー  
消防センター前

測定時期：平成29年9月7日から  
10月11日までの33日間

長野県大気環境測定車「あおぞらIV」→





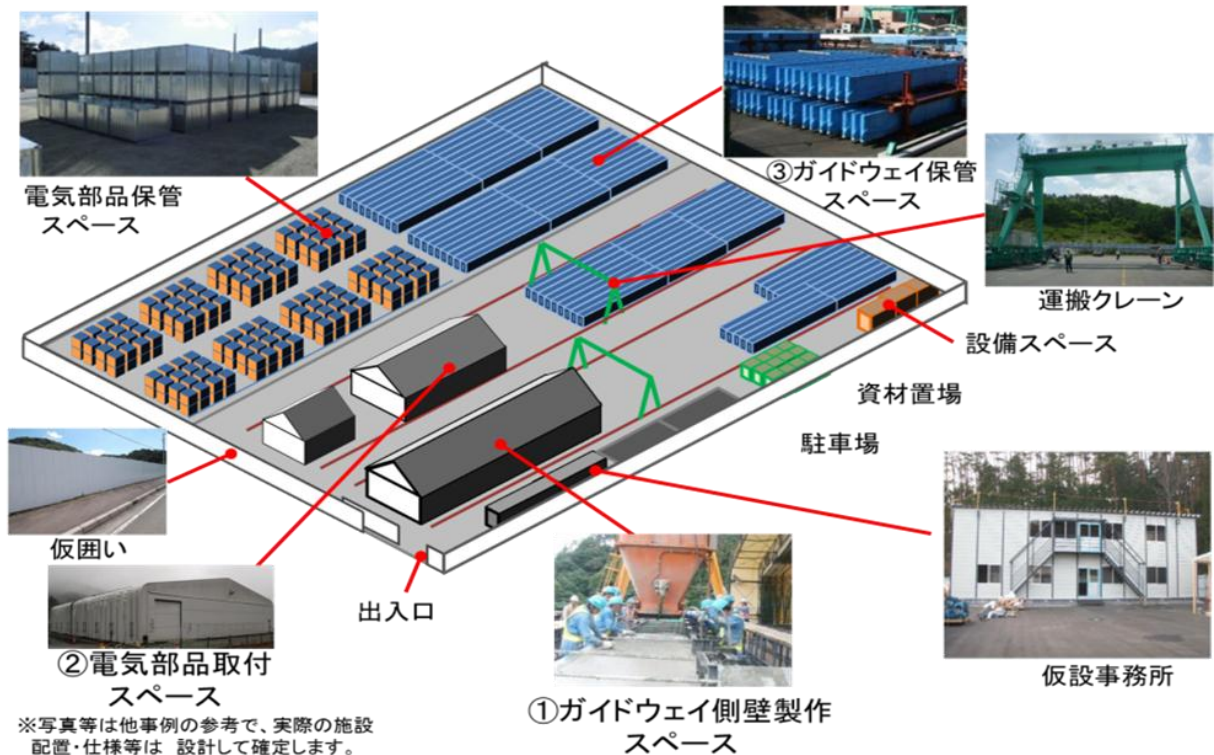
# ガイドウェイ現地調査

現地調査

実施期間：H29年3月  
上旬～6月末

目的：関連施設候補地の詳細検討

内容：測量作業、  
地質調査、立木調査の実施



# 農業振興地域範圍



・面積：約5.5ha(内農地：約3.8ha)

# 代替地登録制度

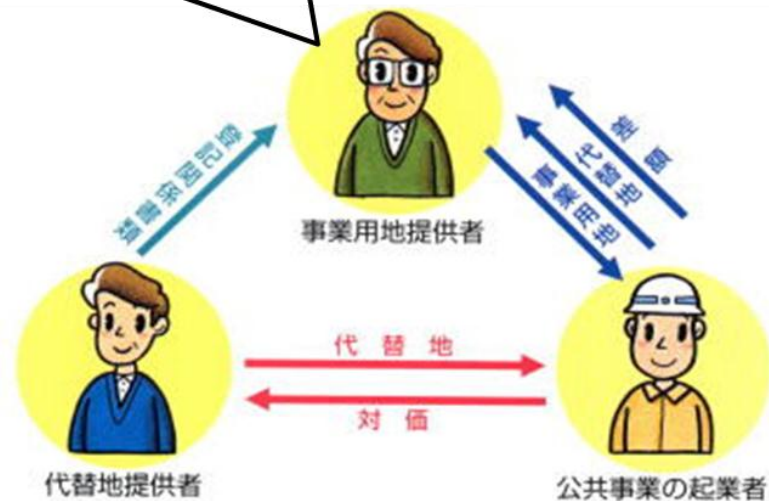
## 代替地登録状況

登録件数	29件
登録面積	38,219.67m <sup>2</sup>

## 代替地登録地区別状況

阿島北	宅地2件・田9件
阿島南	雑種地1件・田1件
伊久間	田4件・畑1件
小川	宅地2件・田7件
加々須	畑2件

リニア中央新幹線関連事業などの公共事業により土地を提供いただく方々の代替地要望にお応えするために、代替地候補として土地の情報を登録していただく制度です。



# 公開質問検討

# (1) 日照阻害

- 国の指針に基づき、リニア中央新幹線事業で日照阻害の影響を受ける住宅や農作物、太陽光発電等すべての補償内容と補償時期について明らかにすること。
- リニア高架橋下にどのような施設が整備されるのかによって、日照阻害を受ける範囲に差が生じるため、高架橋下の施設を明らかにすると共に日照阻害の具体的なシミュレーションを用いて説明すること。



## (2) 壬生沢川の排水対策

- 村境を流れる壬生沢川は、河川断面も小さく、台風等自然災害の脅威に常に晒されていることから、豊丘村を通過する長大トンネルの工事排水については、壬生沢川に放流しないことの確約と、代替排水路の整備計画を早急に示すこと。

## (3) 防音防災フードと防音壁

- 明かり区間の環境対策工として、沿線市町村の状況を踏まえ、線路を半円状のコンクリート製の屋根で覆う防音防災フードと線路の両側に設ける防音壁の最終的な設置位置について早急に協議すること。

## (4) 地下水源の代替

- 工事着手前、工事中、工事終了後において、地下水の水位や水質に影響が出た場合は、早急な応急対策、恒久対策を実施すること。特に、地上区間における高架橋等の基礎工事で、村営水道水源である田中下水源、堰下水源に影響が出た場合は、即時対応すると共にその方法についてあらかじめ協議をすること。

## (5) 工車用車両

- リニア関連工事に伴う工車用車両の通行は、生活環境に大きな影響があることから、村内の運行ルート、安全対策、運行時間、環境対策、舗装修繕等について計画を明らかにすること。



## (6) 発生土の活用

- リニア発生土を活用し埋立を行う、ガイドウェイ製作・保管ヤードとリニア本線に係る工場移転先の造成地について、活用する発生土の搬出時期や運搬ルート、造成方法等について計画を明らかにすること。

## (7) 落下物の安全管理

- 緩衝帯を4mとしているが、高架橋など構造物からの落雪、落氷、ボルト等の落下物の恐れがあることから、高架橋下の村道との交差部分や利用可能な部分の安全対策を明らかにすること。

## (8) 事業用地の残地

- 面積や形状が変更となり、損失補償の対象となる土地の整理と補償内容について明らかにすること。
- 高架橋下に整備する施設によって、事業用地の追加取得が必要となるか明らかにすること。

## (9) 発生土置き場の運搬ルート

- 沿線市町村の発生土置き場の運搬車両が、村内を通過することは、生活環境の懸念が大きいため、豊丘村及び飯田市に予定している発生土置き場の運搬ルート計画について説明すること。